訪問看護ステーションの基本理念

いつも変わらない安心を。

質の高い看護とは、特定の誰かの経験や力量だけに頼るのではなく、誰が担当しても、一人ひとりに適した看護を安定して届け続けることだと、私たちは考えています。
専門性の高い医療ニーズや緊急時にも、冷静かつ適切に対応できるよう、日頃から備えること。
そして、看護を受ける人だけでなく、看護を届ける人も安心できること。
私たちは、ドクターヘリのフライトナース経験者を中心とした専門チームとともに、実際の事例を想定したシミュレーションや研修、緊急時の判断を支えるホットラインなど、チーム全体で看護の質を高める仕組みを実践しています。
一人の優秀さに頼るのではなく、チーム全体で質の高い看護を支える。
その積み重ねが、私たちの目指す「いつも変わらない安心」です。

---

1. 地域に根ざし、その人らしい暮らしを支える

病気や障害があっても、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けたい。
私たちは、その思いを大切にし、一人ひとりの希望や生活に寄り添いながら、在宅療養の可能性を広げていきます。
医療機関やケアマネジャー、地域のさまざまな専門職と連携し、必要なときに必要な看護を届けること。
そして、暮らしの場所や状況が変わっても、その人らしい生活を選び続けられるよう支えること。
地域の中で、安心して暮らし続けられる環境づくりに貢献します。

2. 専門性を高め合い、看護の質を支える

訪問看護には、身体の小さな変化を捉える観察力、適切に判断する専門性、そして、ご利用者やご家族の思いを受け止める人間力が求められます。
私たちは、日中は顔なじみの看護師が継続して寄り添い、夜間・休日は緊急対応に強い専

門スタッフが支える、24 時間の看護体制を整えています。
それぞれの専門性を活かしながら、情報を共有し、対話を重ね、学び合うことで、チーム全体の看護の質を高めています。
「昼は寄り添い、夜は守る。」
時間によって役割が変わっても、看護の質と、その人を大切にする思いは変わらない。そんな切れ目のない看護を実践しています。

3. 働く人の安心と成長が、より良い看護を育む

質の高い看護を届け続けるためには、看護を担うスタッフ自身が、安心して働けることが大切です。
私たちは、一人で責任や不安を抱え込むのではなく、それぞれの強みを活かし、支え合える職場づくりを進めています。
訪問時の安全確保や、夜間・休日の役割分担、緊急時のバックアップ体制など、安心して仕事に向き合える環境を整えています。
また、日々の経験や学びを共有し、専門性と人間性を高め合いながら、スタッフ一人ひとりが成長とやりがいを実感できる組織を目指します。
働く人の安心が、看護を受ける人の安心につながる。
その好循環を大切にしながら、持続可能な地域看護を育てていきます。

千種会訪問看護ステーション